

公益財団法人京都市芸術文化協会
令和元年度（2019年度） 事業実績報告

I 自主事業

会員が企画・運営する当協会の基幹的な事業として、事業を通じて、各分野における会員の拡大と芸術文化の普及・振興を図っています。

1 芸術文化に関する調査研究及び情報の提供

(1) 文化誌『藝文京』の発行

協会会員をはじめ、芸術文化関係者・関係機関、公共施設等を対象に、文化誌『藝文京』を発行しました（通巻138号（秋号）・139号（春号）、各1,500部、カラー表紙、A5判、32頁）。138号・139号を通して「伝える・つなぐー京都の学び」をテーマとする特集記事を掲載しました。（冊子の発行主旨を具体的に示すため「文化誌」の表記に改めました。）

(2) 【新規】リレートーク「藝・文・京」I・II

令和2年度の芸術センター開設20周年、令和3年度中に協会創立40周年や公益財団法人への移行後10年を迎えることを契機として、協会の社会的使命（ミッション）について議論を深め、公益事業の実施に繋げるため、新たにリレートーク「藝・文・京」を実施しました。リレートークは協会会員だけでなく、ひろく一般参加を募り、公開で実施しました。

| 開催日 | 内容・出演等 | 会場 | 人数 |
|--------|--|----------|-----|
| 11月11日 | 「AI時代における、文化芸術の可能性」 登壇者：近藤誠一（理事、近藤文化・外交研究所代表） 茂山あきら（理事、大蔵流狂言方） 松尾恵（理事、ヴォイスギャラリー主宰） 進行：中谷香（専務理事） | 京都芸術センター | 39人 |
| 2月17日 | 「成熟社会における暮らしと芸術・文化」 登壇者：加藤博史（社会福祉学者、龍谷大学名誉教授） 菅原直樹（俳優・介護福祉士、「老いと演劇」OibokkeShi主催） 宗田好史（都市建築学者、京都府立大学教授） 聞き手：山本麻友美（京都芸術センターチーフプログラムディレクター） | 京都芸術センター | 36人 |

(3) 協会ホームページの運営

協会ホームページの運営を通じ、自主事業や会員催事情報等の告知、資料の公開など、芸術文化に関する情報発信を行いました（会員催事情報件数：68件、ホームページアクセス件数：11,714件）。

2 各種芸術文化事業の実施及び奨励

(1) 各種芸術文化事業

| 開催日 | 事業名称 | 内容・出演等 | 会場 | 人数 |
|------|------------------------|---|----------------|--------|
| 2月2日 | 第44回 京都ビッグ・バンド・フェスティバル | 出演：京都府吹奏楽連盟所属の合同・選抜・有志等6団体 料金：1,000円 | 京都コンサートホール大ホール | 1,886人 |

(2) 各種芸術文化事業の奨励（後援・共催）

会員等が実施する事業に対して、後援（87件）や共催（1件）の支援を行いました。

3 芸術文化に関する教育及び普及

(1) 子ども芸術体験教室

| 開催日 | 事業名 | 講師等 | 会場 | 人数 |
|---------------------------|-----------|-------------------------------|------------|-----|
| 7月20, 21, 27, 28, 29日 | 夏休み邦楽体験教室 | 箏・三味線・締太鼓・鉦・横笛 大木富志、早瀬久恵 他 | 京都芸術センター | 15人 |
| 7月20, 21, 27, 28日 8月3日 | 夏休み邦舞体験教室 | 音羽菊寿寿、音羽古都寿、音羽菊寿碧 | 京都芸術センター | 19人 |
| 7月30, 31日 8月1, 6, 7日 | 夏休み能楽体験教室 | 公益社団法人能楽協会京都支部 | 京都芸術センターほか | 61人 |

<成果発表>

| 開催日 | 事業名 | 会場 | 人数 |
|------|---------------|----------|------|
| 8月4日 | 夏休み邦舞体験教室 発表会 | 京都芸術センター | 34人 |
| 8月8日 | 夏休み能楽体験教室 発表会 | 大江能楽堂 | 147人 |

(2) 藝文協芸術教室

建築「ふたりの建築家が語る建築と京都のまち」をテーマに開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次年度に延期しました。

4 芸術家等の育成及び顕彰

(1) 芸術家等の育成

| 開催日 | 事業名称 | 内容・出演等 | 会場 | 人数 |
|--------------|-------------------------|--|-----------------|--------------|
| 6月6, 7, 8日 | 京都いけばなプレゼンテーション 2019 | 「やっぱり すごいぞ！いけばな」をテーマに「いけばなの日」イベントを開催。華道分野会員34流派による52作の小品展示の他、SUINA室町1階大垣書店本店内でワークショップを開催 | 京都芸術センター、大垣書店本店 | 1,228人 |
| 12月7 ～23日 | 第5回 藝文京展 (工芸) | 「～暮らしのみちづれ～」をテーマに全国から作品を募集する公募展。41点の内22点を展示。内6点を入選作品とした。 | 京都芸術センター | 延べ 1,108人 |

(2) 芸術家等の顕彰

ア 京都市芸術文化協会賞

原則として当協会に所属する会員を対象に、近年の芸術文化活動が特に顕著な方や、芸術文化の向上に多大の功労があったと認められる方を表彰する制度です。

令和元年度は、関根秀治氏を表彰しました。

イ 京都市芸術文化協会新人賞

原則として当協会に所属する会員を対象に、新進で活発な芸術文化活動が認められる方や、今後の芸術文化活動において、さらにその活躍が期待される方を表彰する制度です。令和元年度は、対象となる推薦がありませんでした。

5 その他会員関連活動

(1) 総会・懇親会

7月5日に会員総会・懇親会を開催しました。(会場：京都ホテルオークラ、出席者：104人)

(2) 会員増加に向けた取組

ホームページや文化誌『藝文京』に協会の取組を掲載し、広く発信するとともに、シンボルマークを作成し、各種事業を通じて協会内外に発表しました。

II 受託事業

京都を新たな魅力に満ちた文化芸術都市として創生することを目指して制定された「京都文化芸術都市創生条例」及びその具体的な指針となる「第2期京都文化芸術都市創生計画（平成29年3月策定）」や「京都文化芸術プログラム2020+（平成28年8月策定）」に基づく事業を受託し、当協会の広範な芸術家のネットワークと文化事業の実績、ノウハウ等を活用して事業を実施することで、京都市の文化芸術行政の一翼を担っています。

1 市民狂言会

伝統芸能である狂言を、楽しく気軽に鑑賞する機会を広く市民に提供するため開催しました。（入場者数：計1,045人 第257回：新型コロナウイルスの影響により開催を中止）

| 開催回 開催日 | 演目・出演等 | 会場 | 人数 |
|----------------|--|------------|------|
| 第254回 6月7日 | 演目：舟船、惣八、鼻、塗師 出演：茂山千作、茂山七五三、茂山あきら、茂山千五郎他 | 京都観世 会館 | 350人 |
| 第255回 8月22日 | 演目：柿山伏、口真似、居杭、菌 出演：茂山七五三、茂山あきら、茂山千三郎、茂山千五郎他 | | 373人 |
| 第256回 12月6日 | 演目：宝の槌、御茶の水、附子、蟹山伏 出演：茂山七五三、茂山千三郎、茂山千五郎、茂山忠三郎他 | | 322人 |
| 第257回 中止 | 演目：岡太夫、土筆、魚説経、仁王 出演：茂山千五郎、茂山宗彦、茂山茂、茂山逸平他 | | - |

※入場料：前売2,500円/当日3,000円/キャンパスパートナーズ当日1,500円 年間席札8,000円
第255回のみ高校生以下500円

2 子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出（京都文化芸術プログラム2020+関連事業）

（1）文化芸術授業（ようこそアーティスト）

京都市内の小学校等を対象に、伝統芸能から現代美術まで、多様なジャンルのアーティストを講師として派遣し、特別授業を行っています。

令和元年度は、45箇所で開催しました（実施回数：88回 受講者：計2,973人）。

また、担い手育成に向けた実験的な取組として、事業案内及び紹介動画を作成したほか、全国の類似事業・先駆的事业のリサーチを行いました。

| 開催日 | 分野 | 主な講師(所属等) | 実施校 | 学年 | 人数 |
|-------|---------------|-----------------------------|--------|-------|------|
| 7月8日 | 陶芸 | 谷口 良孝（清水焼団地協同組合） | 南大内小学校 | 5,6年生 | 55人 |
| 8月19日 | 日本舞踊 | 西川 充 他（充の会） | 白菊児童館 | 小学生 | 36人 |
| 8月28日 | 狂言 | 茂山 千五郎・井口 竜也・山下 守之（茂山狂言会） | 砂川小学校 | 6年生 | 80人 |
| 8月29日 | 演劇（テクニカルスタッフ） | 竹内 良亮 他 （NPO法人 舞台芸術協会） | 双ヶ丘中学校 | 2年生 | 157人 |
| 9月2日 | コンテンポラリーダンス | 隅地 菜歩・阿比留 修一 （セレノグラフィカ） | 山科幼稚園 | 5歳児 | 28人 |
| 9月10日 | 落語 | 桂 花團治 | 岩倉南小学校 | 5年生 | 161人 |
| 9月14日 | 華道 | 植松 賞月 他 （京都いけばな協会／松月堂古流） | 錦林児童館 | 小学生 | 32人 |

| | | | | | |
|--------|------------------|--|--------------|-------|------|
| 9月20日 | 華道 | 芦田 一馬 他 (京都いけばな協会／遠州) | 葵小学校 | 6年生 | 69人 |
| 9月21日 | 華道 | 山中 樹 他 (京都いけばな協会／洛陽未生流) | 梅津北児童館 | 小学生 | 20人 |
| 9月26日 | 洋舞(クラシック バレエ) | 原 美香 他 (全京都洋舞協議会 ／原美香バレエスタジオ) | 竹田幼稚園 | 4,5歳児 | 30人 |
| 10月2日 | 華道 | 中村 展山 他 (京都いけばな協会／小松流) | 鏡山小学校 | 6年生 | 94人 |
| 10月2日 | 日本舞踊 | 藤蔭 静樹・藤蔭 静亜樹 (静芳会) | 朱雀第二小学校 | 5年生 | 54人 |
| 10月4日 | 書道 | 白井 進 他 ((公財) 京都市芸術 文化協会書道分野会員) | おおやけこども 園 | 5歳児 | 67人 |
| 10月11日 | マンガ | 高田 悠希・鈴木 翠 (京都精華大 学・京都国際マンガミュージアム) | 音羽小学校 | 6年生 | 45人 |
| 10月15日 | 能楽 (シテ方) | 深野 貴彦・宮本 茂樹・鷲尾 世志 子 (能楽協会 京都支部) | 村山保育園 | 4,5歳児 | 22人 |
| 10月16日 | 能楽 (囃子方) | 杉信太郎・曾和鼓堂・井林久登・前 川光範 (能楽協会 京都支部) | 宇多野小学校 | 6年生 | 75人 |
| 10月17日 | 能楽 (シテ方) | 豊嶋 晃嗣・山田 伊純・向井 弘記 (能楽協会 京都支部) | 納所小学校 | 6年生 | 52人 |
| 10月23日 | コンテンポラリー ダンス | 東野 祥子 他 (ANTIBODIES Collective) | 太秦小学校 | 6年生 | 157人 |
| 10月28日 | 茶道(煎茶) | 野口 久楽 他 (小川流煎茶 三清会) | 七条小学校 | 6年生 | 93人 |
| 10月30日 | 能楽 (ワキ方) | 岡 充・宇高 徳成・山田 伊純 (能楽協会 京都支部) | 竹田小学校 | 6年生 | 67人 |
| 10月30日 | 声楽・器楽 | 安本 佳苗・神永 強正 ((公財) 京都市芸術文化協会洋楽 分野会員) | 池田東小学校 | 5年生 | 37人 |
| 10月31日 | 邦楽(箏) | 大木 富志・早瀬 久恵・奥谷 秀子 ((一社) 京都當道会) | 新町小学校 | 6年生 | 89人 |
| 11月5日 | 能楽 (囃子方) | 左鴻 泰弘・林 大和・渡部 諭・井 上 敬介 (能楽協会 京都支部) | 大宅中学校 | 3年生 | 96人 |
| 11月6日 | 能楽(シテ 方) | 宮本 茂樹・鷲尾 世志子・河村 浩 太郎 (能楽協会 京都支部) | 仁和小学校 | 6年生 | 60人 |
| 11月7日 | 狂言 | 茂山 千五郎・島田 洋海・山下 守 之 (茂山狂言会) | 下鴨小学校 | 6年生 | 54人 |
| 11月11日 | 落語 | 桂 二乗・桂 小鯛・はやしや 律子 | 翔鸞小学校 | 5,6年 | 81人 |
| 11月20日 | 現代美術 | ベリー マキコ 他 (第2回藝文京展 優秀賞受賞者) | 百々小学校 | 6年生 | 94人 |

| | | | | | |
|--------|----------------|--|-----------------|-------|------|
| 11月21日 | 華道 | 今井 理榮 他 (京都いけばな協会／古流松藤会) | 第三錦林小学校 | 6年生 | 34人 |
| 11月25日 | 狂言 | 茂山 千五郎・島田 洋海・井口 竜也 (茂山狂言会) | 安朱小学校 | 5,6年生 | 70人 |
| 11月26日 | 書道 | 白井 進 他 ((公財) 京都市芸術文化協会書道分野会員) | 嵐山東小学校 | 5年生 | 49人 |
| 11月26日 | 現代美術 | 川田 知志 他 (京都市芸術新人賞受賞者) | 柊野小学校 | 6年生 | 109人 |
| 12月2日 | 茶道(煎茶) | 野口 久楽 他 (小川流煎茶 三清会) | 大原野小学校 | 6年生 | 32人 |
| 12月10日 | 短歌 | 畑谷 隆子・村田 泰子 (京都歌人協会) | 藤ノ森小学校 | 6年生 | 75人 |
| 12月13日 | 能楽 (囃子方) | 左鴻 泰弘・林 大輝・渡部 諭・井上 敬介 (能楽協会京都支部) | 朱雀第三小学校 | 6年生 | 52人 |
| 12月13日 | 狂言 | 茂山 忠三郎・岡村 宏懇・山本 善之 (茂山忠三郎家) | 北野中学校 | 3年生 | 106人 |
| 12月17日 | 演劇 (身体表現) | 村上 慎太郎・渡邊 裕史・吉田 香月 (NPO法人 京都舞台芸術協会) | 西総合支援学校 | 小学生 | 80人 |
| 1月14日 | 茶道(抹茶) | 米澤 宗昭 他 ((一財) 茶道裏千家淡交会) | 山階小学校 | 4,5年生 | 78人 |
| 1月22日 | 邦楽(長唄) | 杵屋 勝九郎・杵屋 寿哉 (杵勝会) | 鳳徳小学校 | 5年生 | 51人 |
| 1月22日 | 洋舞 (モダンダンス) | 石原 完二・清水 彩花 (全京都洋舞協議会／石原メイパレスタジオ) | 伏見板橋幼稚園 | 4歳児 | 19人 |
| 1月28日 | 香道 | 山田 洋平 他 (山田松香木店) | 西京高等学校附属中学校 | 2年生 | 119人 |
| 1月31日 | 邦楽 (常磐津) | 常磐津 都筑蔵・常磐津 都史 | 梅津北小学校 | 6年生 | 58人 |
| 2月4日 | 日本舞踊 | 若柳 里規弥 (若柳流めふき会) | 正親小学校 | 3年生 | 25人 |
| 2月10日 | 茶道(抹茶) | 米澤 宗昭 他 ((一財) 茶道裏千家淡交会) | 安井保育園 | 5歳児 | 22人 |
| 2月13日 | 邦楽(箏) | 大木 富志・早瀬 久恵・奥谷 秀子 ((一社) 京都當道会) | 修学院第二小学校 | 6年生 | 60人 |
| 2月17日 | 茶道(抹茶) | 米澤 宗昭 他 ((一財) 茶道裏千家淡交会) | 京都市立楊梅幼稚園 | 4・5歳児 | 29人 |
| 中止 | 邦楽(長唄) | 杵屋 勝九郎・杵屋 寿哉・杵屋 勝進良 (杵勝会) | 京都インターナショナルスクール | 小・中学生 | - |

* ゴシックは芸術文化協会会員

(2) 伝統公演授業(ようこそ和の空間)

京都市内の中学生を対象に、和の文化を体感できる会場で伝統芸能を鑑賞する事業(2日4公演)を実施しました。(参加者総数:計1,874人(引率教職員121人を含む。))

| 開催日 | 分野、演目及び出演 | 会場 | 人数 |
|---------|---|-----------------|--------|
| 2月3日、5日 | 能「船弁慶」(3日:金剛流、7日:観世流) / (公財)能楽協会京都支部 狂言「口真似」(3日午前・5日午前・5日午後 大蔵流), 「柿山伏」(3日午後 和泉流) / (公財)能楽協会京都支部 日本舞踊 3日午前の部若柳流(若柳弥生 社中) 常磐津「屋敷娘」 3日午後の部花柳流(花柳白梅 社中) 常磐津「屋敷娘」 5日午前の部榎茂都流(榎茂都梅衣華 社中) 地歌「都十二月」 5日午前の部坂東流(坂東温子 社中) 常磐津「東都獅子」 邦楽 常磐津都立蔵連中 | 金剛能楽堂 京都観世会館 | 1,874人 |

*ゴシックは芸術文化協会会員

<参加校別の人数>

2月3日(月) 午前の部

| 校名 | 住所 | 学年 | クラス数 | 生徒数 | 引率教員 | 合計 |
|--------|-----|----|------|------|------|------|
| 凌風小中学校 | 南区 | 8 | 3 | 62人 | 5人 | 67人 |
| 神川中学校 | 伏見区 | 1 | 11 | 357人 | 20人 | 377人 |
| 合計 | | | | 419人 | 25人 | 444人 |

2月3日(月) 午後の部

| 校名 | 住所 | 学年 | クラス数 | 生徒数 | 引率教員 | 合計 |
|--------|-----|-----|------|------|------|------|
| 中京中学校 | 中京区 | 1・2 | 4 | 138人 | 10人 | 148人 |
| 花背小中学校 | 左京区 | 7・8 | 2 | 5人 | 2人 | 7人 |
| 栗陵中学校 | 伏見区 | 1 | 5 | 110人 | 10人 | 120人 |
| 松尾中学校 | 西京区 | 1 | 5 | 157人 | 9人 | 166人 |
| 合計 | | | | 410人 | 31人 | 441人 |

2月5日(水) 午前の部

| 校名 | 住所 | 学年 | クラス数 | 生徒数 | 引率教員 | 合計 |
|-------|-----|-----|------|------|------|------|
| 朱雀中学校 | 中京区 | 2 | 3 | 87人 | 8人 | 95人 |
| 開晴中学校 | 東山区 | 8 | 3 | 71人 | 6人 | 77人 |
| 岡崎中学校 | 左京区 | 1 | 3 | 71人 | 7人 | 78人 |
| 大原中学校 | 左京区 | 7・8 | 2 | 21人 | 4人 | 25人 |
| 桂川中学校 | 西京区 | 2 | 6 | 215人 | 12人 | 227人 |
| 合計 | | | | 465人 | 37人 | 502人 |

2月5日（水） 午後の部

| 校名 | 住所 | 学年 | クラス数 | 生徒数 | 引率教員 | 合計 |
|-------|-----|----|------|------|------|------|
| 衣笠中学校 | 北区 | 2 | 5 | 154人 | 8人 | 162人 |
| 山科中学校 | 山科区 | 2 | 6 | 169人 | 11人 | 180人 |
| 西院中学校 | 右京区 | 1 | 4 | 136人 | 9人 | 145人 |
| 合計 | | | | 459人 | 28人 | 487人 |

3 アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業

全国のアーティスト・イン・レジデンス（AIR）の拠点となるためのプラットフォームを構築し、国際文化交流をより一層加速させ、世界中からアーティストやAIRの情報が京都に集まる環境整備を進めます。

令和元年度は、国内のAIRの総合データベース「AIR__J」の運営を国際交流基金から引き継ぎ、2020年3月にリニューアルして公開しました。（アクセス件数：882件）

| サイト名 | 掲載団体数 |
|-----------------------------------|-------|
| 日本全国のアーティスト・イン・レジデンス総合サイト「AIR__J」 | 53件 |

4 助成関係事業

（1）京都市助成金等内定者資金融資制度（融資窓口業務）

芸術家の資金面の負担を軽減し、芸術活動の支援と芸術家の育成を図るため、文化庁等から助成の内定を受けた個人又は団体に対して無利子で資金融資を行う京都市の制度です。令和元年度は、延べ8団体（13件）に対し合計30,193千円を融資しました。

（2）京都市芸術文化特別奨励制度（募集・審査補助業務）

芸術文化の若い担い手等を支援・育成することにより、新たな芸術文化の創造を促すことを目的とする事業で、京都で活動する若手芸術家等を対象に公募し、専門家による審査を行ったうえで、1個人又は1グループにつき300万円の奨励金を京都市が交付する制度です。

| 募集期間 | 応募件数 | 奨励者 |
|------------|------|-----------------------------------|
| 5月1日～7月31日 | 48件 | 西條茜（陶芸、現代美術）、tuQmo（コンテンポラリー・サーカス） |

（3）京都市文化芸術顕彰制度（表彰補助業務）

長年に亘り京都の学術・芸術等の文化の向上に功績があったと認められる方を文化功労者に、将来を期待される新人芸術家等を芸術新人賞に、新人の育成又は芸術に係る活動環境の向上に多大な功労があると認められる団体・個人を芸術振興賞に、それぞれ京都市が顕彰する事業です。

| 顕彰種別 | 受賞者 |
|-------|---|
| 文化功労者 | 猪木武徳（学術（労働経済学・経済思想・経済史））、伊部京子（和紙造形）、片岡秀太郎（歌舞伎）、潮江宏三（学術（美術史））、西野康造（彫刻）、広上淳一（音楽（洋楽））、真神巍堂（書）、鷺田清一（学術（哲学））【8人】 |
| 芸術新人賞 | 石上真由子（洋楽（ヴァイオリン））、今村遼佑（現代美術）、入澤あづさ（漆芸）、宇高竜成（能楽）、大森静佳（文学（短歌））、鬼頭健吾（現代美術）、木野智史（陶芸）、澤田瞳子（文学（小説））、服部しほり（日本画）、蛭田美保子（洋画）、寄田真見乃（邦楽（尺八））【11人】 |
| 芸術振興賞 | 石原完二（洋舞）、上村雅之（メディア芸術（ゲーム））、桂勘（舞踊）、神林恒道（学術（美学））、高林白牛口二（能楽）、鶴田憲次（洋画）、増井信貴（洋楽（指揮））【7人】 |

5 その他

(1) 京都市新規採用職員研修

| 開催日 | 内容 | 講師 | 会場 | 人数 |
|------------|-----------------|-----------|----------|------|
| 4月11日, 12日 | 茶道デモンストレーション・体験 | 中村宗石、中野宗剛 | 京都芸術センター | 259人 |

(2) 教文伝統芸能シリーズ「能楽なう」

公益財団法人札幌市芸術文化財団からの受託事業として、次世代に向けて伝統芸能を継承するプログラムを実施しました。(企画制作: 伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス)

| 開催日 | 内容 | 出演 | 会場 | 人数 |
|------|---|--|---------------|------|
| 9月4日 | 能: 金春流「葛木 大和舞」 狂言: 大蔵流「左近三郎」 能: 観世流「雷電」 | 一能 金春流「葛城 大和舞」 シテ: 中村昌弘 ワキ: 原 陸 ワキツレ: 岡 充 アイ: 茂山千五郎 後見: 辻井八郎、井上貴寛 地謡: 高橋忍、金春憲和、山井綱雄、 本田芳樹、本田布由樹、政木哲司 一狂言 大蔵流「左近三郎」 左近三郎: 茂山千五郎 出家: 茂山茂 後見: 柴田鉄平 一能 金剛流「雷電」 シテ: 宇高竜成 ワキ: 岡 充 ワキツレ: 原 陸 アイ: 茂山茂 後見: 廣田幸稔、豊嶋幸洋 地謡: 種田道一、豊嶋晃嗣、金剛龍謹、 宇高徳成、山田伊純、重本昌也 *能はどちらも以下囃子方 笛 : 藤田貴寛 小鼓: 成田達志 大鼓: 亀井広忠 太鼓: 前川光範 解説: 山井綱雄、豊嶋晃嗣 | 札幌市教育文化会館大ホール | 533人 |
| 9月3日 | 札幌市内中学生能楽鑑賞教室 舞囃子「羽衣」 レクチャー | 宇高竜成、豊嶋晃嗣、宇高徳成、山田伊純、重本昌也 笛 : 藤田貴寛 小鼓: 成田達志 大鼓: 渡部諭 太鼓: 前川光範 | 札幌市教育文化会館大ホール | 187人 |

(3) 京都市自治記念式典オープニングセレモニー

| 開催日 | 内容、出演 | 会場 |
|--------|---|---------------------|
| 10月15日 | ・いけばなと邦楽の共演「テーマ: 秋の道」 いけばな実演: 専慶流家元 西阪専慶 箏奏者: 西山早和子、大西典子、西野幸子 《演奏曲》合奏曲六段 ・落語(制作協力: 米朝事務所) 落語家: 桂米二 | ロームシアター京都 メインホール |

(企画協力: 伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス)

(4) 京都×パリ 京ものアート市場開拓支援事業

京都市の事業(実施業者: 株式会社TCI研究所)である「京都×パリ 京ものアート市場開拓支援事業」のアドバイス業務を受託しました。

| 開催日 | 内容等 | 人数 |
|-----|--|-----|
| 通年 | 京都市、パリ市の職人やアーティストが相互に交流し、アート市場を志向した新たな作品の創作等を支援 講師: 西堀耕太郎 他 | 20人 |

(5) 【新規】中学生の能楽大連吟～未来～

京都市からの受託事業として、市内中学生に能楽「高砂」の謡を教え、プロの能楽師と共に舞台上で発表するプログラムを実施しました。(共催：能楽大連吟実行委員会 制作：伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス)

| 開催日 | 内容 | 出演 | 会場 | 人数 |
|--------|---------------|--|------------------------------------|------|
| 9月～11月 | 稽古 *各中学校5回 | 講師：深野貴彦、松野浩行、宮本茂樹 松井美樹、樹下千慧 *11月11日に京都芸術センターにて全体稽古を開催 | 烏丸中学校、京都御池中学校、嵯峨中学校、東山泉小中学校、凌風小中学校 | 144人 |
| 11月23日 | 舞台発表 | 能・解説／松野浩行、深野貴彦、松井美樹、宮本茂樹 半能「高砂」 シテ：樹下千慧 ワキ：小林 努 笛：森田保美 小鼓：曾和鼓堂 大鼓：渡部 愉 太鼓：前川光範 地謡：烏丸中学校、京都御池中学校、嵯峨中学校、東山泉小中学校、凌風小中学校 深野貴彦、松野浩行、宮本茂樹、松井美樹 後見：河村浩太郎、齊藤信輔、今村哲朗 | 京都市右京ふれあい文化会館 | 246人 |

(6) 札幌市教育文化会館 ダンス事業

札幌市教育文化会館からの受託事業として、ワークショップを開催しました。

| 開催日 | 事業名・内容等 | 会場 | 人数 |
|------------|---------------------------------|-----------|-----|
| 11月9日, 10日 | 教文ダンスワークショップ「昭和レディ」 | 札幌市教育文化会館 | 7人 |
| 1月19日, 20日 | 教文ダンスワークショップ「ゆるぎゅっぽん(赤ちゃんとダンス)」 | | 50人 |
| 1月30日～2月9日 | 教文ダンスワークショップ創作編 | | 73人 |

(7) 【新規】文化庁「伝統芸能用具・原材料に関する調査事業」

文化庁からの受託事業として、伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィスが中心となり実施しました。

| 実施期間 | 内容 |
|-----------------|--|
| 2月25日～ 3月25日 | (1) 調査委員会の運営 (2) 実演家、関係者へのヒアリング *4件程度、有用無形文化財各個認定保持者、(一社)全国邦楽器組合連合会 (3) 調査方法の提案及びアンケート調査様式の作成 (4) 報告書の作成 |

(8) 【新規】文化庁アーティスト・イン・レジデンス評価交流会

文化庁地域文化創生本部と共同で、アーティスト・イン・レジデンスの運営者によるグループディスカッションとピア・レビューを行いました。

| 開催日 | 内容 | 会場 | 人数 |
|--------|-------------------------|----------|-----|
| 10月10日 | 文化庁アーティスト・イン・レジデンス評価交流会 | 京都経済センター | 50人 |

(9) 【新規】京都・東山花灯路-2020

京都・花灯路推進協議会からの受託事業として、インスタレーション作品展示会を企画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

| 内容 | 会場 |
|---|--------|
| 高橋匡太「ひかりの花の庭 Higashiyama Ring -24節季の色暦- | あおくすの庭 |

Ⅲ 芸術文化活動拠点施設運営事業

京都における芸術文化活動拠点施設である京都芸術センターの運営を通して、芸術活動の支援、芸術文化情報の発信、芸術を通じた芸術家と市民等との交流を行うことで、芸術家や芸術に関係する者が連携して、京都における芸術を総合的に振興することを目的とする事業です。

当協会では、京都芸術センターが開設された平成12年4月から、京都市からの業務委託を受けてセンターを運営しており、平成18年度からは、地方自治法の改正に伴い、指定管理者として引き続き管理運営しています。

【活動センター機能】

1 伝統的芸術の継承・創造事業

(1) 明倫茶会

様々な分野で活動している方を席主として、趣向を凝らした茶会を開催しました。

| 開催日 | 事業名・内容 | 席主 | 会場 | 人数 |
|--------|---|------------------------|------------|------|
| 9月29日 | 『阿修羅から浄土へ』 畠中光享の美意識 大駱駝艦「阿修羅」映像とお菓子とお抹茶 | 畠中光享（日本画家） | 大広間 | 131人 |
| 11月24日 | 【アヴァンギャルドなお茶会】 @薄暮 萩原朔太郎——足跡の音を聴く】 お菓子とコーヒー | 萩原朔美（映像作家、演出家、前橋文学館館長） | ミーティングルーム2 | 61人 |

【関連企画】

| 開催日 | 事業名 | 内容 | 会場 | 人数 |
|------------|-----------------------|---------------------------------|------------------|------|
| 11月16日～25日 | Tim Satomi Exhibition | 刺繍作家のティム・サトミが萩原朔太郎の詩に発想を得た作品を展示 | ギャラリー北、北館1階スロープ下 | 536人 |

(2) 伝統芸能文化創生プロジェクト（五感で感じる和の文化事業から改称）

国立京都伝統芸能文化センター（仮称）の機能を強化推進するために、伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス（以下、「TARO」という。）を設置し、伝統芸能や文化に携わる他機関・組織、実演家、職人、研究者とリサーチを通してネットワーク構築を図りました。また、文化庁や構築したネットワーク先と連携し、下記の事業を重点的に行いました。

- ① 伝統芸能文化に係る相談・対応（相談件数：191件）
- ② 関係機関のネットワーク構築（伝統芸能文化をめぐる現状や課題を研究機関やネットワーク先と共有。シンポジウム&総合イベントの実施）
- ③ 伝統芸能文化復活・活性化公募プログラム（伝統芸能文化の存続が危ぶまれる、道具や材料の枯渇、それらを製作する職人や後継者、伝統芸能文化を担う人材の不足などの問題に対し、総合的な視野から伝統芸能文化の振興に資するため、公募により復活・活性化のプログラムを実施）

また、TAROのウェブサイトにおいて、伝統芸能文化のコラムを掲載しました。

ア 講座シリーズ「新内節を語る」（聞き手：新内志賀、細野桜子）

| 開催日 | 内容 | 会場 | 人数 |
|---------|------------------------------|--------|-----|
| 1月25日 | 第1回「我が師を語る」 講師：鶴賀伊勢吉 | 和室「明倫」 | 27人 |
| 2月11日 | 第2回「創作を語る」 講師：岡本宮之助 ゲスト：細川周平 | 大広間 | 56人 |
| 3月10日延期 | 第3回「女流を語る」 講師：富士松菊子 | 和室「明倫」 | - |

イ シンポジウム&公演

| 開催日 | 事業名・内容 | 会場 | 人数 |
|------|---|----|------|
| 7月7日 | 「六斎念仏―復活と継承のためにできること―」 第一部 シンポジウム：葛野公明（ひつつんつん保存会）、原田一樹（上鳥羽橋上鉦講中芸能六斎指導）、西村武生（田中村六斎念仏保存会） 第二部 ひつつんつん保存会「六斎念仏」、田中村六斎念仏保存会「鉦回向」、上鳥羽橋上鉦講中「祇園囃子」 | 講堂 | 171人 |
| 2月8日 | 「鬼と芸能：古今東西の鬼大集合」 第一部 基調講演：小松和彦（国際日本文化研究センター所長）、シンポジウム：横山太郎（立教大学教授）、川崎瑞穂（神戸大学・日本学術振興会特別研究員）、三宅流（映画監督） 第二部 公演：北藤根鬼剣舞（岩手県・北藤根鬼剣舞保存会）、母ヶ浦の面浮立（佐賀県・母ヶ浦面浮立保存会）、狂言「節分」（鬼：茂山千五郎、女：島田洋海） | 講堂 | 178人 |

ウ 伝統芸能文化創生ネットワーク会議

| 開催日 | 内容 | 会場 | 人数 |
|------|----------------------|------------|-----|
| 2月8日 | ネットワーク会議（東京文化財研究所主催） | ミーティングルーム2 | 16人 |

エ 伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム

公募の結果、11件の申請があり、一次審査、二次審査を経て3件を採択しました（3件とも次年度も継続）。前年度に採択した3件とともに実施しています。

| プログラム名 | 申請者 |
|----------------------|--|
| 新素材による鉦すりの試作と生産業者の探索 | 祇園祭囃子方連絡会（代表：木村幾次郎） |
| 新内節の発信と保存プロジェクト | 新内節の発信と保存プロジェクト（代表：新内志賀） |
| 十津川盆踊りの伝承・保存・活用発信 | 十津川盆踊り実行委員会（奈良県十津川村）（実行委員長：佐古金一、事務局：土井麻利江） |

① 伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム報告会・中間報告会

| 開催日 | 内容 | 会場 | 人数 |
|------|---|----|-----|
| 2月9日 | 平成30年度採択事業報告会：上鳥羽橋上鉦講中（代表 熊田茂男）、林美恵子（柳川三味線）、ゴットンプロジェクト（代表 橋口晃一、黒坂周吾） 令和元年度採択事業中間報告会：十津川盆踊り実行委員会（実行委員長 佐古金一、事務局 土井麻利江）、新内節の発信と保存プロジェクト（代表 新内志賀） | 講堂 | 68人 |

② ゴッタンプロジェクト ゴッタンライブ&交流会（鹿児島市）

| 開催日 | 内容 | 会場 | 人数 |
|------|--------------------------------------|---------------------|-----|
| 4月6日 | 出演：橋口晃一、永山成子、サカキマンゴー、 トークゲスト：木下賢也 | トマルビル 地下ギャラリー（鹿児島県） | 92人 |

③ 伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム説明会

| 開催日 | 内容 | 会場 | 人数 |
|-------|-------|-------------|-----|
| 4月13日 | 京都説明会 | 講堂 | 21人 |
| 4月27日 | 東京説明会 | 東京文化財研究所会議室 | 11人 |

オ 連携プログラム（受託事業、協力事業を含む。）

| 開催日 | 内容 | 会場 | 人数 |
|-------|------------------------------------|----------------------------|------|
| 8月30日 | 御所南小学校六年生による「令和につながる！伝統文化継承プロジェクト」 | 講堂、ミーティングルーム2、和室「明倫」、大広間 他 | 380人 |

2 芸術家・芸術関係者育成事業

(1) 京都国際ダンスワークショップフェスティバル2019

昨年度に引き続き、ダンスアンドエンヴァイロメントと連携し、国際的に活躍する講師を招き、「interlace」をテーマにダンスワークショップを実施しました。

| 開催日 | 講師 | 会場 | 人数 |
|----------------|---|------------------|--------|
| 4月19日～ 5月6日 | カティア・ムストネン（フィンランド）、ダイ・ジアン（フランス）、キャンディス・マルテル（フランス）、フランチェスコ・スカベッタ（ノルウェー）、坂本公成+森裕子（京都）、柿崎麻莉子（東京）、チョン・ヨンドウ（韓国）、ルイス・ガレー（アルゼンチン）、ホラシオ・マクアクア（スペイン）、合田有紀+野村香子（京都） | 講堂、フリースペース、大広間 他 | 2,318人 |

※受講料：A～Eクラス。受講料はクラスで異なる。単発受講2,000円、3,000円、3,500円等

ア ショーイングの実施

| 開催日 | 講師 | 会場 | 人数 |
|------|-----------------|---------|-----|
| 5月6日 | ルイス・ガレー ショーイング | フリースペース | 56人 |
| 5月6日 | チョン・ヨンドウ ショーイング | 制作室7 | 94人 |

イ Youth Tank Project オーディション説明会

| プログラム | 人数 |
|--------------------|-----|
| スカラミーティング | 17人 |
| オーディション説明会（スウェーデン） | 6人 |
| オーディション説明会（韓国） | 5人 |

その他、明倫ボディサロン（身体メンテナンスと情報交換、参加者、講師等の交流を行う場）、ドキュメントアクション（dance+と連携しアーカイブを公開）、スカラシップ制度（専門家からの推薦を受けたダンサーのサポート）も併せて実施しました。

(2) トラディショナル・シアター・トレーニング2019 (T.T.T.)

国内外の芸術家・研究者等を対象に、日本の伝統芸能である能、狂言及び日本舞踊に関する基礎知識・技術等を習得してもらうためのプログラムを実施しました。

| 開催日 | 内容 | 講師 | 会場 | 人数 |
|-----------------|---------------------------|--|------------------|------|
| 7月17日～ 8月10日 | トレーニング（オリエンテーション・ワークショップ） | 能：片山伸吾、田茂井廣道、大江信行 狂言：茂山あきら、茂山童司、丸石やすし 日本舞踊：若柳弥生 プログラム・ディレクター：マシュー・ショアーズ | フリースペース、大広間 他 | 15人 |
| | 発表会（8月10日） | | 大江能楽堂 | 105人 |

※受講料：一般90,000円、リピーター・学生75,000円

(3) KAC Performing Arts Program 2019

ジャンルで区切ることが難しい新しい表現や、クロスジャンルの表現を積極的に創造し発信することを目指す事業を実施しました。

ア Contemporary Dance

アーティスト・イン・レジデンスでエクスチェンジ・プログラムを行ってきたスペインの GRANER との共同事業を、ブラッシュアップし発表を行いました。

① マニュエル・ロドリゲス 「Body on Paper」

2017年の京都・東京でのリサーチ・写真撮影を経て、フォトブックを刊行。第二段階として、インスタレーションの展示とダンス公演を実施しました。

| 開催日 | 事業名・内容 | 会場 | 人数 |
|----------------|---|--------|------|
| 10月25日～ 28日 | マニュエル・ロドリゲス 「Body on Paper」 インスタレーション展示 | ギャラリー北 | 153人 |
| 11月8日,9日 | マニュエル・ロドリゲス 「Body on Paper」 公演 | 講堂 | 106人 |

② 相模友士郎「エイリアンズ」

2018年に GRANER に滞在し、ワークインプログレスとして「Living / Dead / Garden」を発表した相模友士郎が、スペインでの滞在制作を深化させた新作を発表しました。

| 開催日 | 事業名・内容 | 会場 | 人数 |
|------------------|---|---------|-----|
| 11月29日～ 12月1日 | 相模友士郎「エイリアンズ」 構成：相模友士郎、佐藤健太郎、白井剛 演出：相模友士郎、出演：佐藤健太郎、白井剛 ドラマトウルク：山田咲 | フリースペース | 91人 |

イ Music

音楽以外の分野のアーティストと新しい音空間をつくり、音楽ファンだけでなく、演劇をはじめ他のジャンルの顧客を呼び込み、客層の拡大を狙う、2本の創作プログラムを実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

| 開催日 | 事業名・内容 |
|------------------|--|
| 2月29日～3月1日 中止 | 北爪裕道『粒子の踊り』～4つの音次元による スペクタクル 【関連企画】インスタレーション『粒子の踊り』 2月28日（金）13:00～17:00 |
| 3月28日～29日 中止 | 坂東祐大『感情の作られ方』 出演：Ensemble FOVE [多久潤一朗 (flute)、上野耕平 (saxophone)、中川日出鷹 (bassoon)、大家一将 (percussion)]、塗櫻 (voice)、有馬純寿 (electronics) |

ウ Traditional Performance 「継ぐこと・伝えること」

30、40代の若手・中堅の実演家たちを取り上げ、トークと実演でその芸能の魅力を伝える事業を企画しましたが、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

| 開催日 | 事業名・内容 |
|-------------|--|
| 3月15日 中止 | 継ぐこと・伝えること 63 「金剛流を魅せる」 出演：金剛龍謹（シテ方金剛流若宗家） 演目：舞囃子『海人』、仕舞『玉之段』 ゲスト：渡辺美帆子（演劇作家、ドラマトウルク） 司会：小林昌廣（情報科学芸術大学院大学教授） |
| 3月20日 中止 | 継ぐこと・伝えること 64 「井上流を魅せる」 出演：井上安寿子（京舞井上流） 演目：『珠取海女』 ゲスト：きたまり（振付家、ダンサー） 司会：小林昌廣（情報科学芸術大学院大学教授） |

エ Cotemporary Theater

「演劇作品における新たな主体をめぐって」というテーマで、演劇を通して社会的なアプローチを探る2つの公演について、リーディング、報告会という形で取り上げました。

| 開催日 | 事業名・内容 | 会場 | 人数 |
|------------|---|---------|------|
| 2月21日, 22日 | ソン・ギウン『外地の三人姉妹』リーディング *共同主催：大阪大学文学研究科 | フリースペース | 146人 |
| 2月22日 | サファリ・P「コンボ公演報告会」 共同主催：サファリ・P 登壇者：月村太郎（同志社大学政策学部教授）、 住吉哲志（京都新聞記者）、山口茜（サファリ・P） | 講堂 | 31人 |

(4) KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭2019

京都・日本そして世界の舞台芸術を紹介することを目的に、国内・海外から先駆的な取組を行っている演出家を招へいし、舞台芸術の祭典を開催しました。

| 開催日 | 事業名・内容 | 会場 | 人数 |
|-----------|--|--------------------------|--------|
| 10月5日～27日 | グループ展『ケソン工業団地』 北朝鮮の開城工業団地をテーマにした韓国のアーティストによるグループ展からイム・フンスン、イ・ブロック、ユ・ス3名の作品を再構成し展示。 キュレーター：Carey Park | ギャラリー南、講堂、大広間、ミテイングルーム2他 | 2,913人 |
| 10月25～27日 | 神里雄大/岡崎藝術座『ニオノウミにて / Happy Prince Fish』 *岡崎藝術座主催 | フリースペース | 464人 |

【関連企画】

| 開催日 | 事業名 | 会場 | 人数 |
|-----------|--------------|-------|------|
| 10月5日, 6日 | トーク+ギャラリーツアー | 大広間 他 | 129人 |

(5) 関西の若手グループ展

| 開催日 | 事業名 | 内容 | 会場 | 人数 |
|----------------|-------------------------|---------------|------------|--------|
| 4月16日～ 5月8日 | ニューミュージーション #2『世界のうつつ』展 | 出展作家：寺岡海、小松千倫 | ギャラリー北・南 他 | 2,441人 |

【関連企画】

| 開催日 | 事業名 | 会場 | 人数 |
|-------|------------|----------|-----|
| 4月20日 | アーティスト・トーク | ギャラリー北・南 | 21人 |

(6) 中堅ベテラン企画展「FOCUS#2」

| 開催日 | 事業名 | 内容 | 会場 | 人数 |
|-----------------|---|-------------------------|--------------|--------|
| 7月13日～ 8月18日 | FOCUS #2 マルコス・フォレ ロ展-repeated trace- | 出展作家：マルコス・アヴィ ラ・フォレロ | ギャラリー 北・南 | 3,528人 |

【関連企画】

| 開催日 | 事業名 | 内容 | 会場 | 人数 |
|-------|---|---|------------------------|-----|
| 7月13日 | アーティスト・トーク+書道パ フォーマンス+ダンスパフォー マンス | マルコス・フォレロによるト ークと、コラボレーターであ る小筆風外（墨道家）、橋本 有子（CMA: Certified Movement Analyst, Dancer） によるパフォーマンス | フリースペ ース、ギャ ラリー北 | 34人 |

(7) 跳ぶ前に聞け！

アーティストが創作にいたる以前と、創作した後に必要なスキルを養うためのワーク
ショップとトレーニング・プログラムを行いました。

| 開催日 | 内容 | 会場 | 人数 |
|-------|--|----|------|
| 4月14日 | プレ企画（森口邦彦講習会連動企画） 講演会「日本美のすばらしさ・友禅染—『友禅ひいなかた』にみ る革新性—」 講師 切畑健 | 講堂 | 104人 |
| 6月25日 | Netherlands Dance Theater ダンスワークショップ + Q&A(トークセッション) 講師：Guido Dutilh | 講堂 | 55人 |
| 6月26日 | Noism ダンスワークショップ + Q&A(トークセッション) 講師：井関佐和子（Noism 副芸術監督） | 講堂 | 52人 |

3 先駆的・実験的事業

(1) セレブレーションー日本・ポーランド現代美術展ー

日本・ポーランド国交樹立100周年を記念し、ポーランド文化の紹介・交流活動に取り
組むアダム・ミツキェヴィチ・インスティテュートとの共同主催で「セレブレーションー
日本・ポーランド現代美術展」を開催しました。また、同じ出展作家で、ポズナン、シ
チェチンでも展覧会を開催しました。

キュレーター：加須屋明子、Paweł Pachciarek

| 開催日 | 事業名 | 出展作家 | 会場 | 人数 |
|-----------------|---------------------------|--|--|---------|
| 5月18日～ 6月23日 | セレブレーションー日本ポーラ ンド現代美術展 | カロリナ・ブレグワ、アグニェシュカ・ブジ ェジャンスカ、ピョトル・ブヤク、contact Gonzo、東影智裕、hyslom、今村遼佑、石橋 義正+安藤英由樹、川田知志、小泉明郎、ダ ニエル・コニウシュ、ロベルト・クシミロフ スキ、マリア・ロボダ、松田壯統、岡本光博、 アリツィア・ロガルスカ、笹岡由梨子、ウー カシュ・スロヴィエツ、スタッフ・シュムスキ、 谷中佑輔、山本麻紀子（21組） | 二条城、京 都芸術セン ター、ザ タ ーミナルキ ョウト、ロ ームシアタ ー京都 | 95,429人 |

【関連企画】

| 開催日 | 事業名 | 内容 | 会場 | 人数 |
|-----------|---|--|---------------------|------|
| 5月17日 | プレסטツアー | プレス、関係者向けのガイドツアー | 京都芸術センター、ザターミナルキョウト | 24人 |
| 5月17日 | プレ・パフォーマンス ロベルト・クスミロフスキ | 展示作品を使つてのパフォーマンス | 南館 2階バルコニー | — |
| 5月17日 | レセプション・パーティー | ポーランド関係者等を招いてのパーティー。 | フリースペース | 115人 |
| | 前夜祭イベント Poland Festival in Japan presented by AVANT ART FESTIVAL | ポーランド、日本の音楽家によるライブパフォーマンス 出演：パヴェウ・ロマンチェク、西原尚 | | |
| 5月18日 | パブリックプログラム アーティスト・トーク #1 | 出演：アリツィア・ロガルスカ、アグニュエシュカ・ブジェジャンスカ、ピョートル・ブヤク、東影智裕 | 制作室 1 | 9人 |
| 5月18日 | パブリックプログラム アンダ・ロッテンベルク氏による基調講演 & アーティスト・トーク #2 | 第1部基調講演 アンダ・ロッテンベルク 第2部アーティスト・トーク：ロベルト・クスミロフスキ、石橋義正、小泉明郎、ダニエル・コニウシュ | フリースペース | 34人 |
| 5月18日 | パブリックプログラム アーティスト・トーク #3 | 出演：川田知志、スタッフ・シュムスキ、笹岡由梨子、ウーカシュ・スロヴィエツ | ロームシアター京都 3階プラザ | 15人 |
| 5月18日 | 開幕式典 | ポーランド政府関係者、市長等を交えた式典 | 二条城 | 93人 |
| 5月18日～19日 | パブリックイベント#1 谷中佑輔 パフォーマンス 「(Dis)Oriental Whaling:プロジェクト“クジラの地理的身体” | 出展作家の谷中佑輔が展示空間内でパフォーマンス | 講堂 | 91人 |
| 5月19日 | ヒスロム「なくした石を探すツアー」 | ヒスロムと市内をめぐるツアー | ヒスロム作業場 他 | 3人 |
| 5月19日 | パブリックプログラム キュレーター・トーク & アーティスト・トーク #4 | 出演：加須屋明子、パヴェウ・パフチャレク、今村遼佑、ヒスロム | フリースペース | 10人 |
| 6月23日 | パブリックイベント#2 山本麻紀子『巨人と眠りーポーランド編』 | 参加者が布団に横たわりながら鑑賞する語りと即興パフォーマンス。 ゲスト：野村誠（音楽家）、やぶくみこ（音楽家） | 和室「明倫」 | 25人 |

【関連イベント】

| | | | | |
|-------------------------|---|--|---------|------|
| 5月24日 | ポーランド・トーク | 出演：マルティン・タタルチュク、加須屋明子、パヴェウ・パフチャレク | フリースペース | 9人 |
| 6月13日～15日、 6月20日～22日 | 日本・ポーランド短編アニメーション上映会 | ポズナン芸術大学、クラコフ美術アカデミー（ヤン・マテイコ美術アカデミー）、京都市立芸術大学の学生あるいは卒業生らによる短編アニメーションの上映会 | フリースペース | 120人 |
| 8月31日 | 山本麻紀子 上映会『ARE YOU A POLISH GIANT? ポーランド南部グェヴォント山の伝説を追う旅～だいだらぼうのために・第二部』 | 山本麻紀子作品の続編部分の上映会 | 和室「明倫」 | 25人 |
| 1月13日 | WRO オン・ツアー2019 京都 ”Artefacts” | ポーランド第4の都市ヴロツワフのWROアートセンターが主催するメディアアートビエンナーレに出展された作品の中から映像8点を上映 | 講堂 | 15人 |

【連携企画】

| 開催日 | 事業名 | 内容 | 会場 | 人数 |
|-------------|--------------------------------|--------------------------------------|----------------------------|--------|
| 5月31日～6月15日 | セレブレーションーポーランド日本現代美術展ーin ポズナン | ポズナンアートウィークに合わせて開催された、同じ出展作家による平行企画展 | ポズナン芸術大学ギャラリー、スターリ・プロヴァル 他 | 不明 |
| 6月13日～8月31日 | セレブレーションーポーランド日本現代美術展ーin シチェチン | 同じ出展作家が別の作品を発表した企画展 | トラフォスタツィア | 1,800人 |

(2) ニュイ・ブランシュ KYOTO 2019 : テオ・カシアーニ 『LECTURE (02)』

アンスティチュ・フランセ関西と共同でニュイ・ブランシュ(白夜祭)を実施しました。

| 開催日 | 内容 | 会場 | 人数 |
|-------|--|---------|-----|
| 10月5日 | テオ・カシアーニ 『LECTURE (02)』による小説『Rétine』を基にしたライブリーディングとサウンドパフォーマンス 構成：テオ・カシアーニ サウンド：小松千倫 リーディング：クレオ・ヴェルストルペン、竹之内芙美 | フリースペース | 74人 |

4 制作・発表支援事業

(1) 制作支援事業（制作室使用者募集）

美術作品の制作、ダンスや演劇の稽古場等として制作室の使用を希望する芸術家を公募し、審査のうえ無料で提供しています（1申請につき最長3箇月間）。

令和元年度は、72組（のべ103組）の団体・個人が制作室を使用しました。

(2) Co-program2019

京都芸術センターと共同で行う事業プランを公募し、選出した事業を共同で実施しました。

ア カテゴリーA:「共同制作」(公演事業) 3件

| 開催日 | 団体名・事業名 | 内容 | 会場 | 人数 |
|-----------|---|--|----|------|
| 8月17日～18日 | Akakilike (倉田 翠) 『眠るのがもったいないくらいに楽しいことをたくさん持って、夏の海がキラキラ輝くように、緑の庭に光あふれるように、永遠に続く気が狂いそうな晴天のように』 | 特定非営利活動法人京都ダルク (薬物依存リハビリセンター) の利用者と舞台作品を創作するプロジェクト | 講堂 | 314人 |
| 9月14日～16日 | 三野新 / ニカサン 『うまく落ちる練習』 | 現代美術のインスタレーション展示空間において行われるジャンル横断性を持った演劇公演 | 講堂 | 131人 |
| 12月6日～8日 | dracom 『釈迦ヶ池ーDer Buddha-Teich』 | FFT (Forum Freies Theater、デュッセルドルフ) での筒井潤作・演出『今日の判定』招聘公演 (2017)、同市でのリサーチ・語学研修 (2018) を経て、2019 年度に筒井の新作をFFT と国際共同製作し、デュッセルドルフと京都で上演 | 講堂 | 191人 |

【関連企画】

| 開催日 | 事業名 | 内容 | 会場 | 人数 |
|-------|---------------------------|-------------------------------------|---------|----|
| 6月30日 | 創作ワークショップ『「息」をし続けるために』 | 写真家・劇作家・演出家の三野新によるワークショップ | 制作室5 | 6人 |
| 7月6日 | パフォーマンス作品試演会『「息」をし続けるために』 | 三野新による、6月に行ったワークショップを踏まえた本公演にむけた試演会 | フリースペース | 5人 |

イ カテゴリーB:「共同開催」(展覧会事業) 1件

| 開催日 | 団体名・事業名 | 内容 | 会場 | 人数 |
|-------------|-----------------------------|---|-----------|--------|
| 1月11日～2月16日 | TRA-TRAVEL 「ポスト LCC 時代の」 | アジア4ヶ国計7名のアーティストを招聘し、日本を例にLCCサービス発達後の、国境を超える人や物や情報の移動がもたらす力学を考察し、近未来に起こりえる社会状況を想像する展覧会 出展作家: Mark Salvatus (フィリピン)、Mong-jane Wu (台湾)、Prapat Jiwangsan (タイ)、Qenji Yoshida (日本)、Wantanee Siripattananuntakul (タイ)、Yukawa-Nakayasu (日本)、Yu-Hsin Su (台湾) | ギャラリー北・南他 | 2,300人 |

【関連企画】

| 開催日 | 事業名 | 内容 | 会場 | 人数 |
|-------|------------|--|------------|-----|
| 1月12日 | アーティスト・トーク | 出展作家のQenji Yoshida、Wantanee Siripattananuntakul、Yukawa-Nakayasuの3名が展覧会について話しました。 | ミーティングルーム2 | 25人 |

| | | | | |
|-------------|-------|---|--------|------|
| 2月6日～ 9日 | 映像上映会 | Yu-Hsin Su「water sleep II Akaike river under Xizang Road」(11分)を上映 | 和室「明倫」 | 100人 |
|-------------|-------|---|--------|------|

ウ カテゴリーC:「共同実験」(リサーチ、レクチャー、ワークショップ等) 3件

個人や団体が、京都芸術センターと共同で実験を行う事業。短期集中型のワークショップや、通年で複数回実施するリサーチやクリエイションを行いました。

| 開催日 | 団体名・事業名 | 内容 | 人数 |
|-----------|--|--|-----------------------------------|
| 5月6日 | 柳生二千翔 『まばたきの季節』リサーチ報告会+戯曲リーディング上演+アフタートーク | 【前年度継続分】 京都に滞在し執筆した戯曲のリーディングと報告会 | 19人 |
| 8月～3月 | 和田ながら 「わたしたちのフリーハンドなアトラス」 | 「地図を読む」「地図に動かされる」「地図帳(アトラス)を編む」という、地図というメディアを軽やかに遊ぶリサーチプログラム | 公開レクチャー: 11人 公開リサーチミーティング: 25人 |
| 12月6日～22日 | 宙宙 「水になる～水は巡り、旅をする～」 | 水系を描くりサーチとワークショップ、展示 | 74人 |

エ カテゴリーD:「KAC セレクション」(演劇、ダンス、音楽、伝統芸能等の舞台芸術の分野で、発表に限定して支援) 13件

| 開催日 | 団体名 | 事業名 | 会場 | 人数 |
|---------------|--------------------------------|--|------------|------|
| 7月5日 | Kyoto Composers Jazz Orchestra | 音、沈黙と測りあえるほどに | 講堂 | 95人 |
| 7月15日 | Hojo+Kraft | 「わたしの場所／わたしの音一耳できく夢」 | 大広間 | 10人 |
| 8月10日 | ロゼッタ | 『フレームを超えて』 | 講堂 | 55人 |
| 8月22日～26日 | 地点 | 『三人姉妹』 | 講堂 | 252人 |
| 11月21日～23日 | はなもとゆか×マツキモエ | 『VENUS』 | 講堂 | 154人 |
| 11月6日～7日 | 太めのパフォーマンス | 『Sento』 | フリースペース | 60人 |
| 1月9日～12日 | 庄波希 + 新宅加奈子 | 『raw』～精神と肉体の展示会 | 講堂 | 294人 |
| 1月16日～19日 | ソノノチ2020 | 「たちまちの流(ながれ)」 | フリースペース | 320人 |
| 1月23日～26日 | 下鴨車窓 | 「散乱マリン」 | 講堂 | 237人 |
| 1月28日～30日 | 福谷一美 | 福谷一美×オトグラム | 講堂 | 155人 |
| 2月13日～16日 | 居留守 | 鳥を吐き出す。 公開レクチャー「ポストコロナリアルと物語」(1月22日実施11人含む) | フリースペース | 119人 |
| 3月9日～15日 | JCDN | ダンスでいこう!! KYOTO Meeting - 京都芸術センター | フリースペース、講堂 | 256人 |
| 3月5日～8日 延期 | 劇団速度 | 舞台の実存とスクリーン、間にいるあなたの眼 | フリースペース | - |

(3) U35創造支援プログラム事業「KIPPU」

京都芸術センター制作室で制作し、ロームシアター京都ノースホールで発表する35才以下のアーティストを公募し、両施設による審査を経て2組（オル太、お寿司）を選出しました。

制作面のアドバイスのほか、サポートの一環として、批評家に作品に対する批評を依頼し、公演後、批評文を公開するなど、プログラムを幅広く発信しました。

| 開催日 | 採択団体 | ジャンル | 人数 |
|------------|---------|---|------|
| 12月11日～13日 | お寿司（京都） | ボロレスコ「菠薐心中(ハローしんじゅう)」 曾根崎心中を下敷きとしたボロレスコ（バーレスクの語源となった軽妙な芝居の意） | 306人 |
| 2月8日～11日 | オル太（東京） | パフォーマンス「超衆芸術スタンドプレー」 | 231人 |

【批評文】

お寿司 ボロレスコ『菠薐心中』

- ・徳永京子 《私が統一されたひとつの存在ではないと思い出するための人間文楽》
- ・西谷真理子 《南野詩恵さんの「身体の夢」》

オル太『超衆芸術 スタンドプレー』

- ・高嶋慈 《「円環・回転・ループ」が支配する醒めた熱狂空間で、「スペクタクルに耐えない身体」を提示する》
- ・能勢陽子 《グッドラックと偶然が交差する都市のスタンドプレーヤーたち》

【情報センター機能】

1 芸術文化情報の収集・発信事業

(1) 図書室の運営

センター主催事業のアーカイブ及びそれに準じる芸術文化に関する資料の収集と保存を主な目的とした、センターならではの資料室です（入場者数：計5,218人）。

蔵書のうち、図書約6,000冊、ビデオ約500本等の中から、芸術センターで実施する展覧会や公演会等の題材をテーマにした特別企画も開催しました。

【関連展示】

| 開催日 | 事業名 |
|--------------|--|
| 4月2日～30日 | 華道京展70周年記念 関連資料展示 |
| 5月18日～23日 | セレブレーション展関連－日本ポーランド現代美術展 カントル、ポスターとドローイング展示 |
| 6月7日～10日 | いけばなプレゼンテーション関連企画 いけばなの本展示 |
| 10月1日～12月24日 | 蔡國強カタログ特別展示 |
| 3月22日～4月5日 | 「つながりの方程式」展 前田耕平・タオ・ファイ作家資料展示 |

(2) 情報コーナーの運営

芸術文化に関するイベント情報等を収集しました。また、収集した情報を基に訪れる人が交流できるスペースを設置しています。

令和元年度は、情報コーナーの活用方法をさぐるためワークショップを実施するアーティストを募集し、実施しました。

| 開催日 | 団体名・事業名 | 人数 |
|--------|--------------------------------------|----|
| 10月19日 | イーアイオー「スケッチが履歴書～スケッチから始まるコミュニケーション～」 | 2人 |
| 10月20日 | 墨アートラボ「墨流し～和紙に宇宙を～」 | 6人 |
| 10月26日 | Kyoto Dance Exchange「ゆるり、すわり、だんす」 | 3人 |
| 10月27日 | 今泉洋「ヒンデミット 弾いてみよっと」 | 5人 |

(3) 通信紙（京都芸術センター通信）の発行

京都芸術センター事業の広報をはじめ国内外の芸術文化に関する情報を掲載した通信紙を、芸術関係者・機関、図書館、公共施設等を対象に、毎月8,000部（年間計96,000部）発行しました。

(4) 京都芸術センターホームページ

京都芸術センターの施設案内、イベント情報等を発信しました（アクセス件数：208,430件）。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、3月から市内の小・中・高等学校等が休校となったことから、京都市と協働で、自宅でも芸術に触れる機会を提供するwebページ「おうちでアート」を立ち上げ、アーティストの紹介動画配信「アーティストに聞いてみたムービー」、twitterでの相談窓口の開設、リンク集の作成・公開を行いました。

「おうちでアート」アーティストに聞いてみたムービー 公開リスト（令和2年3月末時点）

| | |
|------|---|
| 第1回 | 前田耕平さん（美術家） |
| 第2回 | 倉田翠さん（演出家・ダンサー） |
| 第3回 | タカハシ'タカカーン'セイジさん（アーティスト） |
| 第4回 | いしいしんじさん（作家） |
| 第5回 | 中屋敷智生さん（画家） |
| 第6回 | シュヴァーブ・トム（Tomas Svab）さん（アーティスト・写真家） |
| 第7回 | 泉原隆志さん（ヴァイオリニスト、京都市交響楽団コンサートマスター） |
| 第8回 | 望月麻衣さん（作家） |
| 第9回 | 石上真由子さん（ヴァイオリニスト） |
| 第10回 | 脇田友さん（写真家・デザイナー・舞台監督） |
| 第11回 | 川越宗一さん（作家） |
| 第12回 | セレノグラフィカさん（振付家・ダンサー） |
| 第13回 | 中川日出鷹さん（ファゴット奏者） |
| 第14回 | シュヴァーブ・トム（Tomas Svab）さん その2（アーティスト・写真家） |
| 第15回 | 人長果月さん（美術家） |
| 第16回 | 池上恵一さん（美術家） |
| 第17回 | 有馬純寿さん（音楽家） |

（5）京都文化芸術オフィシャルサイト（Kyoto Art Box）

国民文化祭・京都2011を契機とし、より多くの方が文化芸術に親しめるよう、京都市の文化芸術全般の情報を集約したホームページを運営しています(アクセス件数:66,084件)

2 教育普及事業（インターンシップ・プログラム）

専門性を高め、経験や知識の習得がスムーズと考えられる事業単位で募集し、インターンを受け入れました。

| 事業名 | 人数 |
|--|----|
| セレブレーションー日本・ポーランド現代美術展ー | 6人 |
| KYOTO EXPERIMENT京都国際舞台芸術祭2019「ケソン工業団地」 | 2人 |

3 その他

広報活動の一環として、視察・見学を積極的に受け入れています。令和元年度は、412人（29件。内、海外から57人（4件、3箇国）、学校関係13件）の視察・見学がありました。

【交流センター機能】

1 国際交流事業

(1) アーティスト・イン・レジデンス

2019年度は、公募プログラムとして応募310件(53カ国/地域)の中から、1人のアーティストを受け入れたほか、Seoul Dance Center (韓国・ソウル)、Australia Council for the Arts/ARTSPACE (オーストラリア・シドニー)、Quartier am Hufen (ドイツ・ケルン)との連携のもと、エクステンジプログラム(各1人)を実施し、合計5人のアーティストを受け入れました。

【京都での滞在制作】

(参加者数：5人)

| 滞在期間 | 参加者名 | 居住国/ジャンル | 区分 |
|--------|---------------------|------------|--|
| 4月～6月 | Yoo Ji Young | 韓国/ダンス | エクステンジ (Seoul Dance Center) |
| 5月～7月 | Marcos Avila Forero | フランス/美術 | 展覧会事業として実施(再掲) (アンスティチュ・フランセ) |
| 8月～10月 | J Triangular | 台湾/美術 | 公募 |
| 9月～10月 | Ross Manning | オーストラリア/美術 | エクステンジ (Australia Council for the Arts) |
| 1月～3月 | Philipp Dreber | ドイツ/美術 | エクステンジ (Quartier am Hufen) |

【海外での滞在制作】

(参加者数：2人)

| 滞在期間 | 参加者名 | 渡航先/ジャンル | 区分 |
|--------|------|------------------|--|
| 8月～9月 | きたまり | 韓国(ソウル)/ダンス | エクステンジ (Seoul Dance Center) |
| 8月～10月 | 前田耕平 | オーストラリア(シドニー)/美術 | エクステンジ (Australia Council for the Arts) |

(2) AIR Alliance Platform

京都の他のレジデンス施設・団体と協働した新たなレジデンス・プログラムを試行しました。2019年度はヴィラ九条山、Cite des artis internationalと連携し、リサーチに特化した内容で2名を派遣しました。国内外への施設への視察などネットワークを拡充しました。

【Relay Residency Program】

| 滞在期間 | 参加者名 | 渡航先/ジャンル | 区分 |
|-----------------|------|-------------|--|
| 10月9日～ 11月4日 | 川尾朋子 | フランス(パリ)/書道 | 派遣(ヴィラ九条山、Cite des artis international、京都市) |
| 11月9日～ 1月4日 | 宮坂直樹 | フランス(パリ)/美術 | |

【リサーチ】

(訪問先：3か所)

| 実施時期 | 訪問先 | 訪問目的 |
|------|----------------|---|
| 8月 | 台北市（台湾） | Asia Discovers Asia Meeting for Contemporary Performances (ADAM) の視察・打ち合わせ |
| 9月 | シドニー、メルボルン | ARTSPACE（シドニー）ほか Carriage works などオーストラリアの AIR 施設の視察・打ち合わせ |
| 12月 | さっぽろ天神山アートスタジオ | 全国の AIR 関係者による勉強会 |
| 2月 | TPAM（横浜） | Asia Discovers Asia Meeting for Contemporary Performances (ADAM) 関係者との打ち合わせ |

【成果発表等】

| 開催日 | 事業名称 | 会場 | 人数 |
|------------|--|-------------|------|
| 4月24日 | ユ・ジョン「スパイラル・コンタクト・ワークショップ」 | 制作室7 | 6人 |
| 4月26日 | ユ・ジョン『LOST PERFORMANCE vol.1』 | 制作室7 | 9人 |
| 5月3日 | ユ・ジョン『LOST PERFORMANCE vol.2』 | 制作室7 | 11人 |
| 5月15日 | ユ・ジョン『LOST PERFORMANCE vol.3』 | 制作室7 | 10人 |
| 5月22日 | ユ・ジョン『LOST PERFORMANCE vol.4』 | 制作室7 | 18人 |
| 9月13日 | J.Triangular DIYVIDEO ワークショップ | ミーティングルーム2 | 9人 |
| 9月15日 | J.Triangular DIYVIDEO ワークショップ | ミーティングルーム2 | 5人 |
| 9月21日 | J.Triangular『Kyoto Makai: Ghostly Japan』上映会、オープンスタジオ | 和室「明倫」、制作室1 | 34人 |
| 9月21日 | ロス・マニング アーティスト・トーク | 制作室8 | 18人 |
| 10月11日～25日 | J.Triangular『Kyoto Makai: Ghostly Japan』インスタレーション展示 | 和室「明倫」 | 432人 |
| 10月18日～20日 | ロス・マニング オープンスタジオ | 制作室8 | 85人 |
| 11月10日 | 前田耕平 滞在報告会&次年度募集説明会 | ミーティングルーム2 | 13人 |
| 2月27日～3月2日 | フィリップ・ドレバー展覧会 Rain in Kyoto | 講堂 | 203人 |
| 2月29日中止 | アーティスト・トーク／フィリップ・ドレバー「Rain in Kyoto」展 | ミーティングルーム2 | - |

(3) キュレーターズ・キャンプ

世界各国のユニークなレジデンス・プログラムを展開しているキュレーター／ディレクターを招へいし、京都のアートシーンを体感できる機会を提供するとともに、京都を中心に活躍するアーティストを紹介し、今後の活動へとつなげていく場を創出しました。

いずれも、令和2年度も継続して事業を展開するパートナーとなっています。

| 開催日 | 事業名・内容 | 会場 | 人数 |
|--------|---|------|-----|
| 10月16日 | キュレーターズ・トーク アリサ・バグドネイト（ヴラジオストク、ロシア／ZARYA Center for Contemporary Art） - マリナ・ネオフィトゥ&アルデン・ジェイコブス（ニコシア、キプロス共和国／Visual Voices） - リバー・リン（台北、台湾／Asia Discovers Asia Meeting for Contemporary Performances） -山本麻友美（京都、日本／京都芸術センター） | 制作室4 | 18人 |
| 10月17日 | アーティスト・プレゼンテーション 12名のアーティストがキュレーターに対して英語でプレゼンテーションを行った。 参加者：梶原瑞生、望月めぐみ、明楽和記、前谷開、石井潤一郎、松村和彦、今村遼佑、Alina Zhdanova、川田知志、池田精堂・tuQmo、前田菜月、Qenji Yoshida | 制作室4 | 12人 |

（４）アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業（再掲）

全国のアーティスト・イン・レジデンス（AIR）の拠点となるためのプラットフォームを構築し、国際文化交流をより一層加速させ、世界中からアーティストやAIRの情報が京都に集まる環境整備を進めます。

国内のAIRの総合データベース「AIR__J」の運営を国際交流基金から引き継ぎ、リニューアル（2020年3月）しました。（アクセス件数：882件）

| サイト名 | 掲載団体数 |
|-----------------------------------|-------|
| 日本全国のアーティスト・イン・レジデンス総合サイト「AIR__J」 | 53件 |

（５）文化庁アーティスト・イン・レジデンス評価交流会（再掲）

文化庁地域文化創生本部と共同で、アーティスト・イン・レジデンスの運営者によるグループディスカッションとピア・レビューを行いました。

| 開催日 | 内容 | 会場 | 人数 |
|--------|-------------------------|----------|-----|
| 10月10日 | 文化庁アーティスト・イン・レジデンス評価交流会 | 京都経済センター | 50人 |

2 市民及び芸術家相互の交流事業

（１）展覧会「二つの部屋、三つのケース」

| 開催日 | 内容 | 会場 | 人数 |
|-----------------|--|----------|--------|
| 8月27日～ 9月29日 | 展覧会という形式をとりつつ、三組のアーティストが、京都芸術センターの特徴的な北・南ギャラリーという二つの部屋を同時につかいつつそれぞれ作りだす三つの時間・場を提示します。一ヶ月にわたる展覧会会期中に、それら三つのケースを順々に行いました。 出展作家：関川航平、山中suplex、タカハシ'タカカーン'セイジ | ギャラリー北・南 | 2,331人 |

【関連企画】

| 開催日 | 事業名 | 会場 | 人数 |
|-------|---------------------------|----------|----|
| 9月8日 | 山中 suplex 「展示する」ワークショップ | ギャラリー北・南 | 3人 |
| 9月12日 | 山中 suplex 「畏を仕掛ける」ワークショップ | ギャラリー北・南 | 7人 |

| | | | |
|---------------|---|----------|-----|
| 9月15日 | 山中 suplex「整理整頓」ワークショップ | ギャラリー北・南 | 9人 |
| 9月18日 ～19日 | タカハシ 'タカカーン' セイジ「センタープレオープン」 | ギャラリー南 | 23人 |
| 9月24日 | タカハシ 'タカカーン' セイジ「京都レクリエーションセンター～施設のための試演」芸術倶楽部番外編 オープンカフェ | ギャラリー南 | 26人 |
| 9月29日 | 試演（レクリエーション）二次茶会「お茶をにごさず、水でごまかす」 | ギャラリー南 | 37人 |

（２）京都芸術センター開設20周年記念事業

てんとうむしプロジェクト06 展覧会「つながりの方程式」★

| 開催日 | 内容 | 会場 | 人数 |
|---------------|--|----------|--------|
| 3月1日～ 4月5日 | 京都芸術センター20周年記念事業第一弾 タオ・ファイ（陶輝）と前田耕平による2人展 | ギャラリー北・南 | 1,237人 |

【関連企画】

| 開催日 | 内容 | 会場 | 人数 |
|------------|------------------------------|---------------------|------|
| 12月1日 | 前田耕平「Love Noise」プロジェクト 参加説明会 | インフォメーション | 10人 |
| 12月15日 | 前田耕平「Love Noise」プロジェクト 参加説明会 | インフォメーション | 7人 |
| 1月19日 | 前田耕平「Love Noise」プロジェクト 参加説明会 | インフォメーション | 8人 |
| 1月25日 | 前田耕平「Love Noise」プロジェクト 参加説明会 | インフォメーション | 4人 |
| 2月1日 | 前田耕平「Love Noise」プロジェクト 撮影会 | フリースペース、 グラウンド | 114人 |
| 3月1日 中止 | アーティスト・トーク | ミーティングルーム2 | - |
| 4月4日 | クロージング・トーク | オンラインで実施後、映像 で公開 | |

【特別企画】2名の方に展覧会評を依頼し、公開しました。

細馬宏通（人間行動学者、早稲田大学文学学術院教授）

はがみちこ（アートメディエーター）

（３）明倫レコード倶楽部

いしいしんじ氏（小説家）を講師に、レコードを鑑賞する会を開催しました。

| 開催日 | 内容 | 会場 | 人数 |
|----------|--------|----|-----|
| 6月30日 | 「衣」の音楽 | 講堂 | 82人 |
| 12月14日 | 「食」の音楽 | 講堂 | 65人 |
| 3月14日 中止 | 「住」の音楽 | 講堂 | - |

（４）京都市交響楽団アンサンブルコンサート Kyo×Kyo×Today

京都芸術センターの会場の雰囲気を活かし、演奏者と聴衆が近い距離で音楽を楽しむ演奏会を、京都市交響楽団との共同主催事業として開催しました。

| 開催日 | 内容 | 会場 | 人数 |
|--------|---|----|------|
| 11月26日 | 音楽の国「チェコ」～チェコの作曲家マルティヌー（没後60年）とドヴォルザーク～ | 講堂 | 122人 |

(5) 明倫ワークショップ

制作室使用者が市民との交流事業を行うワークショップを無料で実施しました（開催回数：72回[延期13件]、参加者数：計703人）

3 地域・学術・産業との連携事業

(1) ボランティア・スタッフ

ボランティア・スタッフは、京都芸術センターの活動を様々なかたちで支えています。また、ボランティア・スタッフによる有志の自主的活動である、京都芸術倶楽部や古典芸能自主勉強会、茶の湯サロン「いっぷく」などを通じて、センターとボランティアの方々との交流を深めました。

※ 登録者数：507名（内、図書ボランティア登録者数：74名）（令和2年3月31日現在）。

また新規ボランティア説明会を年間で10回実施し、39名の参加がありました。

(2) 地域との連携事業

| 開催日 | 内容 | 会場 | 人数 |
|------------|---|-----|------|
| 6月28日 | ペトロフ・ピアノコンサート（番組小学校 150 周年記念）第 39 回 夏の夜に、高く、響け！ （主催）明倫ペトロフの会、明倫自治連合会 | 講堂 | 186人 |
| 11月14日 | ペトロフ・ピアノコンサート 第 40 回 イリーナ・メジョーエワ ピアノリサイタル （主催）明倫ペトロフの会、明倫自治連合会 | 講堂 | 143人 |
| 11月16日～17日 | 明倫フェスタ（主催）明倫自治連合会 | 講堂他 | 413人 |

4 ネットワーキング

(1) KYOTO STEAM—世界文化交流祭—2020

「KYOTO CULTIVATES PROJEC」の理念を体現し、アート×サイエンス・テクノロジーをテーマに文化芸術の新たな可能性と価値を世界に問う新しい形態の国際的な文化・芸術の祭典「KYOTO STEAM—世界文化交流祭—」の第1回目フェスティバルを開催しました。

実行委員会の参画団体として、当財団の専務理事が KYOTO STEAM—世界文化交流祭—実行委員会の理事に就任し運営に参画すると共に、同事務局において職員2名がアートディレクターとして従事し、KYOTO STEAM—世界文化交流祭—2020の各事業を担当しました。

(2) 京都文化芸術コア・ネットワークの運営

京都を中心に文化芸術を支える専門的活動を行う者が、多種多様な情報を収集、編集、発信するため、情報交流のプラットフォームとしての京都文化芸術ネットワークを運営しました。

| 開催日 | 事業名 | 内容 | 会場 | 人数 |
|-------|---|---|------------|-----|
| 6月27日 | ManiA (マニア) ミーティング & ミートアップ 主催：ARTLOGUE | 文化芸術に関する課題や疑問をSNSで募り、それを元に政治家の皆さんの考えをアンケートで尋ね、回答をサイトに公開、アーカイブしていくプロジェクト ゲスト：北林功氏 (COS KYOTO 代表 / Design Week Kyoto実行委員会 代表理事)、茂山あきら氏 (大蔵流狂言師) ファシリテーター：鈴木大輔 (ARTLOGUE CEO) | ミーティングルーム2 | 21人 |
| 8月6日 | 「就学前のこども向け作品 創作ワークショップ」 主催：ロームシアター京都 | 『スティック・バイ・ミー』の作・演出をつとめるアンディ・マンリー氏を講師に招いた、就学前のこどもに向けた作品を創るためのワークショップ | ミーティングルーム2 | 12人 |
| 2月1日 | KYOTO EXPERIMENTの10年をみんなでふりかえる 主催：KEX10thを振り返る有志の会 | 初回からディレクターを務めた橋本裕介が退任し、次回からコレクティブ体制での新たなディレクター体制に変わるなど、節目の時期を迎えたKYOTO EXPERIMENTの10年を振り返り、次の5年、10年に向けての展望を考えるシンポジウム 登壇者：塚原悠也、高嶺格、倉田翠、ジゼル・ヴィエンヌ、筒井潤、川崎陽子、丸岡ひろみ、コ・ジュヨン、森山直人、高嶋慈、高橋宏幸、岩城京子 [司会進行] 島貫泰介 | 大広間 | 69人 |

※その他、AGKサロンを毎月1回開催。

(3) パートナーシップ／ネットワーク

京都市内外の他機関との連携機能の強化や、幅広いネットワークを構築することを目指し、共同で事業を実施したほか、当協会職員(プログラムディレクター・アートコーディネーター等)は、他機関の外部委員等に従事しました。

【共同事業】

| 開催日 | 事業名 | 主催 | 会場 | 人数 |
|------------|---|--------------------------------|------------|------|
| 11月16日～23日 | 第4回京都学生アートオークション プレビュー展示 | 京都学生アートオークション実行委員会 | ギャラリー南 | 551人 |
| 11月24日 | 第4回京都学生アートオークション オークション | | 講堂 | 150人 |
| 10月31日 | 文化芸術による共生社会実現のためのアーツマネジメント入門 第4回講座:まともがゆれる - 常識をやめる「スウィング」の実験 講師：木ノ戸昌幸 | 東山 アーティスツ・プレイスメント・サービス (HAPS)) | ミーティングルーム2 | 47人 |
| 12月13日 | 文化芸術による共生社会実現のためのアーツマネジメント入門 第5回「日常使いの現代美術」 講師：滝沢達史 (美術家) | | ミーティングルーム2 | 39人 |
| 2月13日 | 文化芸術による共生社会実現のためのアーツマネジメント入門 第7回講座：共有空間の獲得 講師：小山田徹 | | ミーティングルーム2 | 52人 |

【他機関外部委員等への協会職員の就任】

| 従事者 | 招へい元 | 従事事業 | 地位 |
|-------|---|--|----------------|
| 山本麻友美 | 国際日本文化研究センター | 国際日本文化研究センター共同研究 | 共同研究員 |
| 勝冶真美 | Gallery Parc | Gallery Parc コンペティション | 審査員 |
| 勝冶真美 | HAPS | HAPS | 実行委員 |
| 小島寛大 | 龍谷大学 | 龍谷大学 | 非常勤講師 |
| 山本麻友美 | 大阪市 | 平成 31 年度伝統芸能鑑賞会（能・狂言）公募型プロポーザル審査会 | 審査委員 |
| 山本麻友美 | 鴨江アートセンター | 鴨江アートセンター（一般社団法人浜松創造都市協議会） | 外部評価委員 |
| 山本麻友美 | ART OSAKA2019 | ART OSAKA2019 トークイベント「アートセンターの未来を考える」 | 登壇者 |
| 山本麻友美 | NPO アニュアルギャラリー | 西陣路地の家具デザインコンペ | 審査員 |
| 山本麻友美 | 新しい文化政策プロジェクト | 公開フォーラム「新しい文化政策の構築をめざして」 | 登壇者・プロジェクトメンバー |
| 山本麻友美 | 京都精華大学 | 2019 年度大学における文化芸術推進事業 | 講師 |
| 山本麻友美 | 札幌市民交流プラザ | 札幌文化芸術交流センターSCRATS（札幌市芸術文化財団） | 登壇者 |
| 山本麻友美 | 奈良県地域振興部 | なら歴史芸術村におけるアーティスト・イン・レジデンス研究会 | 委員 |
| 山本麻友美 | 文化庁 | 「芸術家・文化人等による日本文化発信・相互交流事業」運営実施業務企画選定委員会 | 選定委員 |
| 山本麻友美 | 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 | ロームシアター京都 広報印刷物デザイン業務等業務受託候補者選定プロポーザル審査会 | 審査員 |
| 竹内香織 | JCDN (Japan Contemporary Dance Network) | 「創造的なダンスを用いた、児童青少年の自己肯定感向上プロジェクト 2019」推進会議 | 選定委員 |
| 竹内香織 | 京都市 | 子ども・青少年を健やかに育むための文化・芸術振興に係る検討会 | 審査員 |
| 勝冶真美 | さっぽろ天神山アートスタジオ | さっぽろ天神山アートスタジオ AIR 勉強会 | 登壇者 |
| 勝冶真美 | Do a front | アーティスト・イン・レジデンス～運営者を招いて～ | 登壇者 |

【参考資料】

20周年記念プレ事業として実施【再掲】

| 開催日 | 事業名 | 人数 |
|----------------------|--|--------|
| 2月27日 | 20周年事業 事業説明会&交流会 | 42人 |
| 2月29日～ 3月1日 延期 | KAC Performing Arts Program / Music 北爪裕道『粒子の踊り』～4つの音次元によるスペクタクル 【関連企画】2月28日（金）インスタレーション『粒子の踊り』も含む | - |
| 3月1日～ 4月5日 | てんとうむしプロジェクト06 展覧会「つながりの方程式」 | 1,237人 |
| 3月15日 中止 | 「継ぐこと・伝えること 63 金剛流を魅せる」 | - |
| 3月20日 中止 | 「継ぐこと・伝えること 64 井上流を魅せる」 | - |
| 3月20日～ 22日 延期 | 《明倫ワークショップ20周年まつり》 | - |
| | 夕暮れ社 弱男ユニット「オリジナルフォークソングをつくってみよう」 | |
| | 広田ゆうみ+二口大学「からだで本をよむ17」 | |
| | 烏丸ストロークロック「おとなとこどもの表現あそび」 | |
| | てんこもり堂「シェイクスピアを旅するII」 | |
| | 三原聡一郎「表現者の為のメディア表現ワークショップ vol.4 プログラミング」 | |
| | ウミ下着「あそびながらダンスをつくってみる」 | |
| | トランク企画「インプロワークショップ “Yes” で遊んでみよう！」 | |
| 中村クラゲ「言の葉を歩くII」 | | |
| 3月28日～ 29日 延期 | KAC Performing Arts Program 2019 /Music 坂東祐大『感情の作られ方』 | - |

※「開設20周年」の周知を図るため、ポスター（4種、約1万枚）を作成し、市政広報板に掲出しました（令和2年4月1日～15日）。また、20周年記念グッズとして、風呂敷、ノート、ピンバッジ、マスキングテープ、梱包用テープ、ステッカーを作成しました。

公益財団法人京都市芸術文化協会

庶務の概要

1 役員等に関する事項

(令和2年3月31日現在)

| 役職名 | 氏名 | 就任年月日 | 備考 |
|--------|-------|----------|---------------------------|
| 評議員 | 赤松 玉女 | 元. 6. 26 | 京都市立芸術大学 学長 |
| 〃 | 井尻 荷葉 | 〃 | 第1部門（文芸）から選出された会員 |
| 〃 | 衛藤 照夫 | 〃 | 第3部門（造形）から選出された会員 |
| 〃 | 小久見豊子 | 〃 | 第2部門（舞台）から選出された会員 |
| 〃 | 音羽菊寿寿 | 〃 | 第2部門（舞台）から選出された会員 |
| 〃 | 北村 信幸 | 〃 | 京都市文化芸術政策監 |
| 〃 | 白石真古人 | 〃 | 株式会社京都新聞COM営業局長 |
| 〃 | 田波 宏視 | 〃 | NHK京都放送局 局長 |
| 〃 | 塚本 芳子 | 〃 | 第3部門（造形）から選出された会員 |
| 〃 | 納屋 嘉人 | 〃 | 京都商工会議所 文化・情報部会 部会長 |
| 〃 | 長谷川 聡 | 〃 | 独立行政法人国際交流基金京都支部 支部長 |
| 〃 | 菱井喜美子 | 〃 | 第2部門（舞台）から選出された会員 |
| 〃 | 三木町宣行 | 〃 | 第4・5部門（茶道・芸術企画）から選出された会員 |
| 〃 | 柳原 正樹 | 〃 | 京都国立近代美術館 館長 |
| 〃 | 山田 実 | 〃 | 第3部門（造形）から選出された会員 |
| 理事長 | 近藤 誠一 | 元. 6. 26 | 元文化庁長官（京都市が選定する学識経験者） |
| 副理事長 | 村山 明 | 〃 | 第3部門（造形）から選出された会員 |
| 専務理事 | 中谷 香 | 〃 | 京都市が選定する行政経験者 |
| 業務執行理事 | 建畠 哲 | 〃 | 元京都市立芸術大学長（京都市が選定する学識経験者） |
| 理事 | 石原 完二 | 〃 | 第2部門（舞台）から選出された会員 |
| 〃 | 大木 富志 | 〃 | 第2部門（舞台）から選出された会員 |
| 〃 | 尾崎 学 | 〃 | 京都市文化市民局文化芸術都市推進室長 |
| 〃 | 桑原 仙溪 | 〃 | 第3部門（造形）から選出された会員 |
| 〃 | 茂山あきら | 〃 | 第2部門（舞台）から選出された会員 |
| 〃 | 白井 進 | 〃 | 第3部門（造形）から選出された会員 |
| 〃 | 廣 青隴 | 〃 | 第1部門（文芸）から選出された会員 |
| 〃 | 細尾 真生 | 〃 | 一般社団法人京都経済同友会 理事 |
| 〃 | 松尾 恵 | 〃 | 第4・5部門（茶道・芸術企画）から選出された会員 |
| 〃 | 森川 佳昭 | 〃 | 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団専務理事 |
| 監 事 | 中路 健一 | 元. 6. 26 | 公認会計士 |

| | | | |
|---|-------|---|----------------------------------|
| ” | 金田ひろ野 | ” | 京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課事業推進担当課長 |
|---|-------|---|----------------------------------|

2 会議に関する事項

(1) 評議員会・理事会

| 開催年月日・会場 | 議事事項 | 会議の結果 |
|---|---|--|
| 第1回理事会 令和元年6月7日(金) 京都芸術センター 元明倫幼稚園会議室 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業実績報告 ・平成30年度決算 ・令和元年度第1回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項 ・令和元年度京都市芸術文化協会賞及び新人賞受賞者の決定 ・新規会員の入会 | 原案どおり可決 // // 1人決定 原案どおり可決 |
| 第1回評議員会 令和元年6月26日(水) 京都芸術センター ミーティングルーム2 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業実績報告 ・平成30年度決算 ・評議員の選任 ・理事の選任 ・監事の選任 | 原案どおり可決 // // // // |
| 第2回理事会(書面表決) 令和元6月26日(水) | <ul style="list-style-type: none"> ・代表理事(理事長)の選定について ・代表理事(専務理事)の選定について ・業務執行理事の選定について ・副理事長の選定について | 原案どおり可決 // // // |
| 第3回理事会(書面表決) 令和元年7月1日(月) | <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度第2回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項 | 原案どおり可決 |
| 第2回評議員会(書面表決) 令和元年7月1日(月) | <ul style="list-style-type: none"> ・評議員の選任について | 原案どおり可決 |
| 第4回理事会(書面表決) 令和元年10月1日(火) | <ul style="list-style-type: none"> ・新規会員の入会 | 原案どおり可決 |
| 第5回理事会 (中止・書面表決) 令和2年3月26日(木) | <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度補正予算 ・令和2年度事業計画 ・令和2年度予算 ・公益財団法人京都市芸術文化協会職員給与規程の改正 ・委員会の設置 ・新規会員の入会 | 原案どおり可決 // // // // // |

(2) 芸術文化会議

| 開催年月日 | 会場 |
|---------------------|----------------------|
| 平成 31 年 4 月 23 日(火) | 京都芸術センター ミーティングルーム 2 |
| 令和元年 5 月 29 日(水) | 京染会館 大会議室 |
| 令和元年 12 月 17 日(火) | 京都芸術センター ミーティングルーム 2 |
| 令和 2 年 3 月 9 日(月) | 中止・書面開催 |

(3) 企画・交流委員会

| 開催年月日 | 会場 |
|------------------|----------------------|
| 令和元年 5 月 23 日(木) | 京都芸術センター ミーティングルーム 2 |
| 令和元年 7 月 31 日(水) | 京都芸術センター ミーティングルーム 2 |
| 令和元年 9 月 18 日(水) | 京都芸術センター ミーティングルーム 2 |
| 令和元年 10 月 3 日(木) | 京都芸術センター ミーティングルーム 2 |

(4) 調査・編集委員会

| 開催年月日 | 会場 |
|------------------|----------------------|
| 令和元年 5 月 31 日(金) | 京都芸術センター ミーティングルーム 2 |
| 令和元年 9 月 26 日(木) | 京都芸術センター ミーティングルーム 2 |